令和８年度第１回中央区区政会議における委員からの主なご意見及び区の考え方

資料１

分類	主なご意見	区の考え方
相互理解の促進	お互いの文化や価値観を知り、理解を深めることが重要である。	多文化共生の実現には、日本人住民と外国人住民がお互いの文化や価値観を理解し、尊重し合うことが重要であると認識しています。中央区では、今後も日本人住民と外国人住民が互いに理解を深め、安心して暮らし続けられる多文化共生のまちづくりを進めます。
	日本人・外国人双方が、それぞれの文化や習慣を理解し合う姿勢が大切である。	
	多様な文化や価値観を尊重し、相互理解を深めていくことが求められる。	
	多文化共生の前提として、外国人住民に一方的に日本文化の受容を求めるのではなく、相互理解と相互尊重の視点を大切にすべき。	
地域とのつながり・交流の促進	地域行事や町会活動などを交流のきっかけとして活用することが重要である。	地域とのつながりは、多文化共生の実現のための重要な要素であると認識しています。地域活動や交流の機会を通じて、日本人住民と外国人住民との相互理解が深まることが期待されることから、地域や関係機関とも連携しながら、引き続き多文化共生の推進に努めてまいります。 なお、地域とのつながり・交流の一つのきっかけとして、令和８年度第１回中央区区政会議にゲストとしてお招きした日本語学校様に、過日に開催された中央区盆踊り大会にご参加いただき、地域との交流をお楽しみいただきました。
	地域活動への参加を通じて、顔の見える関係づくりを進める必要がある。	
	地域と外国人住民をつなぐ橋渡し役や交流の場が求められる。	
	外国につながる子どもが学校・地域で安心して生活できる環境を整えることが重要である。	
情報発信・生活ルールの共有	やさしい日本語や多言語による情報発信を充実させる必要がある。	外国人住民が安心して地域で生活できるようやさしい日本語や多言語による情報発信に努めるとともに、行政情報や防災情報が必要な方に届くよう、工夫してまいります。 また、地域で安心して暮らすために必要な生活ルールやマナーについても、分かりやすい情報提供に取り組んでまいります。 なお、いただいたご意見を受け、外国人で新たに中央区に転入される方を対象として、中央区ホームページ「日本の生活ガイド　Living Guid to Japan」、外国人生活支援ポータルサイト「日常生活のルール」、（公財）大阪国際交流センター「外国人のための相談窓口」の二次元コードを印字したカードの配布を開始しております。
	行政情報や防災情報などを必要な人に確実に届ける工夫が重要である。	
	日本の生活ルールや地域の慣習を分かりやすく伝えることが大切である。	
	外国人住民だけでなく、日本人も含めて地域のルールやマナーを共有していくことが望ましい。	